

ツワインヒルフィードギルド設立の経過

③ ツワインヒルフィードギルドの設立

○外部からの作業受託の増加

機械装備の拡充やオペレーターメンバーの増員により作業受託の仕組みが整ったことで構成員以外の農家から飼料の収穫や堆肥散布の依頼も増加。



○コントラクター設立

平成24年に任意組織の「ツワインヒルフィードギルド」を設立。



ツワインヒルフィードギルドの事業形態

ギルドの構成員

- 畜産農家4戸（酪農3、肉用牛1）
- 野菜農家9戸（臨時雇用を含む）

ギルドの業務

- 農作業の受託（飼料、堆肥関連）
- 作業受託に係るスケジュール管理
- 作業受託料の収受とギルド構成員へのオペレーター料及び機械賃借料の支払い

ギルド構成員及びギルド以外の農家



飼料の収穫や堆肥の運搬・散布作業など

作業委託料金、堆肥代金等の支払い

作業受託の料金体系と経営収支

作業受託のオペレーター料金及び作業機械の賃貸料

(飼料収穫作業と堆肥運搬、散布作業は共通設定)

○オペレーター料金： 1, 5 0 0 円／h r

○トラクター賃貸料金： 2, 0 0 0 円／h r

○機械賃貸料料金： 2, 0 0 0 円／h r

年間の経営収支：収入÷支出＝約 1, 0 0 0 万円／年

○収入：作業受託料など ○支出：構成員への支払い



事業規模

○自給飼料収穫（飼料用とうもろこしの播種作業等も含む）

①牧草（チモシー主体）：約130ha×3回収穫

ロールベール（約500kg／ロール）約2,700個

②飼料用とうもろこし：約25ha

約1,375t（チューブバックサイロで調製）

○堆肥散布（飼料生産圃場及び村内外の野菜生産圃場など）

散布面積：年間約155ha



ギルド設立の効果

○オペレーターの確保

人手があることで、特に牧草の収穫時の天候急変などに柔軟に対応ができる。

○飼料栽培面積の拡大

構成員の野菜農家の伝手などで自給飼料生産圃場の確保や堆肥の販売先の拡大が進む。

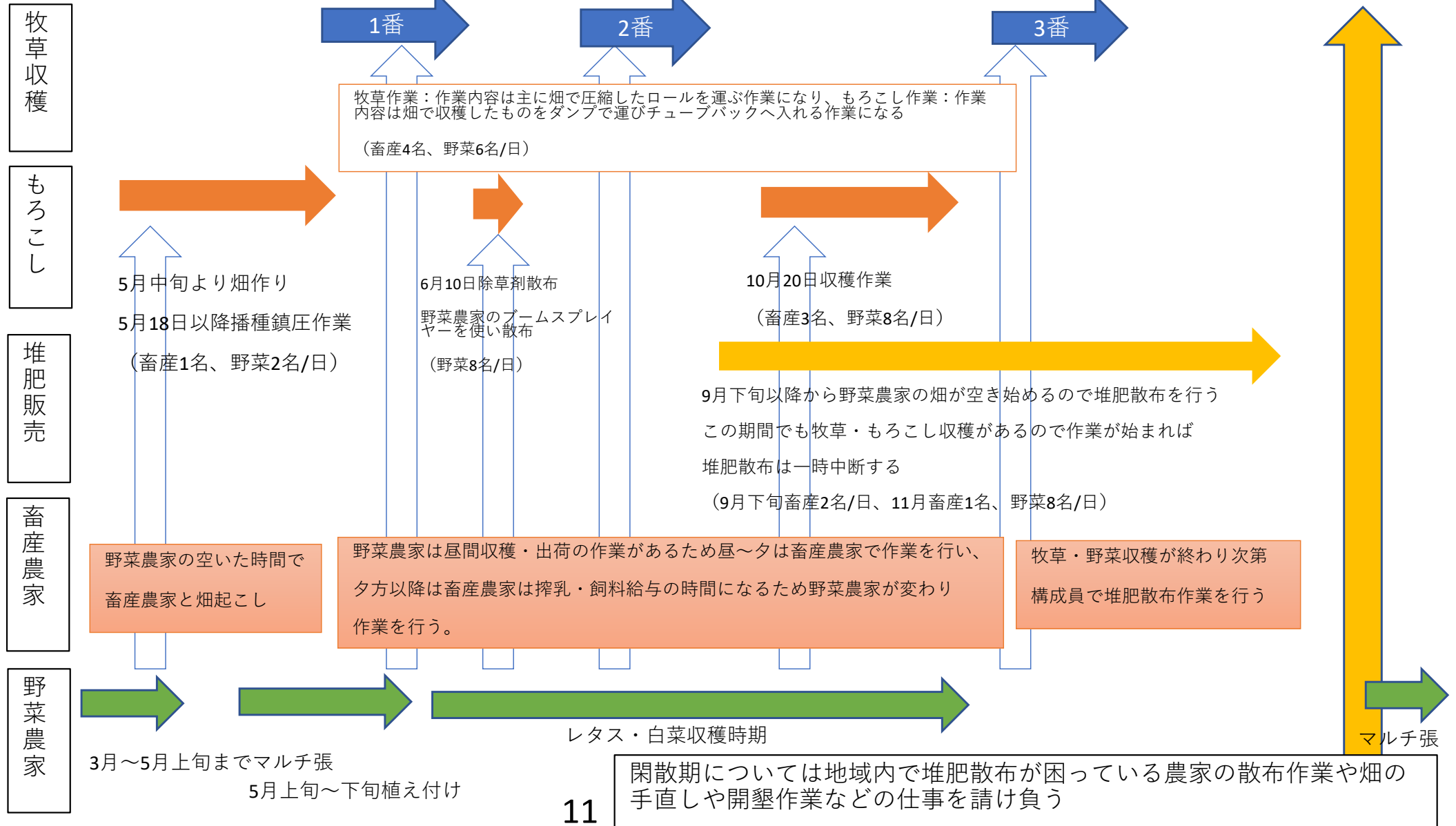
○野菜農家との連携

秋以降の農閑期の野菜農家に堆肥散布などの作業を有償で委託することで、畜産農家と野菜農家が相互利益を得ることが可能になった。



ツワインヒルフィールドギルドの作業体系

月	4	5				6				7	8		9	10			11				12	1	2	3									
日		15	～		28	1	～		7	～	10	～		1	～		7		20	～		30	1	～		7	～	20	1	1	～		



今後の展開

○飼料用とうもろこしの栽培面積の拡大

野菜生産農家との連携による野菜と飼料用とうもろこしの輪作体系の確立、普及。

○堆肥の地域内利用の推進

野菜生産農家への畜糞堆肥の利用拡大

○収穫機械等の資本装備拡充

気象変動に対応した収穫体系の確立による高収量、高品質な自給飼料の生産推進。



持続可能な畜産経営の確立



おわり

ご清聴、ありがとう
ございました

